

太宰府市災害廃棄物処理計画素案に対するパブリックコメント結果

番号	属性	ページ	意見	市の考え方
1	市民	全体	<p>政府は、平成26年6月に閣議決定した「国土強靱化基本計画」において、起きてはならない最悪の事態の一つとして、「大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態」を挙げるとともに、同計画に基づく「国土強靱化アクションプラン2015」（平成27年6月16日国土強靱化推進本部決定）の中で、市町村における災害廃棄物処理計画の策定率をKPI (key performance Indicators.重要業績指標)として設定し、計画の策定率については、平成30年度までに、60 %とすることが目標とされた。</p> <p>しかしながら、政府は、「第四次循環型社会形成推進基本計画」（平成30年 6月19日閣議決定）において、その目標年次を令和7年度まで延長した。</p>	<p>福岡県では、大規模災害等に伴う災害廃棄物の処理及び被災地の復旧・復興に資することを目的とし、併せて、県内市町村の災害廃棄物処理計画策定にも資するものとして、平成28 年3 月に「福岡県災害廃棄物処理計画」を策定し、県内の市町村に対して県計画を基に市町村災害廃棄物処理計画の策定が要請されました。本市においても、この要請に対応し福岡県の技術的支援のもと大規模災害等に伴う災害廃棄物について、処理の基本的な流れや留意すべき事項などを定めた「太宰府市災害廃棄物処理計画」を策定し、本市で大規模な災害が発生した場合には、災害の種類、被災の規模、市内の被害状況などを勘案したうえで、廃棄物処理の具体を示す「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」が策定できるように備えるものです。</p>
2	市民	3	<p>1-5対象とする災害と災害廃棄物 (1)対象とする災害</p> <p>風水害は御笠川の氾濫しか想定されていないが、太宰府市においては四王寺山、宝満山山麓周辺、大佐野地区、特に四王寺山山麓の砂防ダムは、土砂が堆積して砂防ダムの役割を果たしておりません。高雄山周辺、青山・石坂も同様に傾斜地が大雨に見舞われた時、土砂崩落災害等が発生することが予測されます。何故、土砂災害について、記載されていないのか問う。</p> <p>太宰府市は、このことについて、隠蔽しているのか問う。</p> <p>楠田太宰府市長、太宰府市職員は、現地踏査をしてこの計画を作成されたのか問う。</p>	<p>本計画の中では、土砂災害は風水害の一部として捉えていましたが、ご指摘があったように風水害と土砂災害は併記した方がより分かりやすい内容になると思われるため、「風水害」という表記を「風水害や土砂災害」に改めます。</p> <p>なお、本計画で対象とする災害は、風水害や土砂災害の中で本市に一番甚大な被害をもたらすと想定されている御笠川の氾濫のままとします。</p> <p>次に、本計画策定にあたっての現地踏査につきましては、常日頃から危険箇所調査などの現地確認を行っておりますので、今回の策定に際しては特に行っていません。</p>

番号	属性	ページ	意見	市の考え方
3	市民	11	<p>3 - 4市民対応</p> <p>災害廃棄物の集積場、仮置場が定められておりません。被災住民は、何処に持ち込めばいいのか路頭に迷います。集積場、仮置場を決定して、災害廃棄物計画(素案)を作成すべきです。災害廃棄物計画(素案)の作成をし直すべきと考えるが如何。</p> <p>特に、地震発生による被災時、上下水道管の破裂、損傷により水道用水の供給が不可能となることが予測されるが、全く、記載されてないが何故か問う。</p>	<p>本計画は、本市で大規模な災害が発生した場合に、災害の種類、被災の規模、市内の被害状況などを勘案したうえで、廃棄物処理の具体を示す「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」が策定できるように備えるものです。</p> <p>仮置場については、災害の種類、被災の規模、市内の被害状況、ごみの発生量などに基づき処理方法（災害廃棄物発生量、処理可能量、処理フローをもとにした災害時の処理方針）の検討を行い、災害発生後に被害状況に応じて策定する「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」の中で速やかに選定を行います。</p> <p>次に、上下水道施設についてですが、本計画が災害廃棄物処理を行うための計画となっていることから、その件については記載していません。</p>
4	市民	15	<p>太宰府市の水道施設の管路総延長、耐震管路延長(令和5年度) 13.2 %しか耐震構造になっていない。災害対策基本法に基づく福岡県の警固断層帯(南東部)では、震度がマグニチュード7.2とされている。</p> <p>全ての水道管による供給は、不可能になると予測される。</p> <p>トイレの使用後の水を流すのが不可能と予測される。</p>	<p>本市で大規模な災害が発生した場合には、災害の種類、被災の規模、市内の被害状況などを勘案したうえで、発災後に廃棄物処理の具体を示す「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」を策定します。</p> <p>その中で、災害の状況に応じた対応を行います。</p>
5	市民	15	<p>第2編災害廃棄物処理対策</p> <p>1災害廃棄物発生量の推計</p> <p>仮設トイレをし尿の発生量に応じて必要基数の設置を予定されているが、太宰府市の人口約7万1千人に対して9 5基で充足できるのか如何。</p> <p>1日あたりし尿発生量も気象条件によっても異なると考えるが如何。</p>	<p>図表14し尿発生量及び仮設トイレ必要基数につきましては、図表15に示す算出条件にしたがって算出したものであり、災害発生後に被害状況に応じて策定する「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」において、し尿発生量及び仮設トイレ必要基数について随時見直しを行いながら避難所におけるし尿の適切な処理を行います。</p>

番号	属性	ページ	意見	市の考え方
6	市民	16 17	<p>③収集運搬</p> <p>し尿収集運搬車が2台で賄えるのか疑問である。</p> <p>(2)指定避難所ごみ発生量</p> <p>避難所における生活ごみの発生量2.03 t/日とされているが、とてもこのような数字にはならないと予測される。もっと数量が増えると考えられるが如何。</p>	<p>図表17し尿収集運搬車両については、令和6年10月1日時点の本市における許可車両の台数を掲載したものです。</p> <p>し尿を含む災害廃棄物の処理に当たっては、本市が主体となって処理を行うことを基本としますが、被災規模に応じて、県に対し他自治体等による支援を要請し、必要に応じて民間事業者団体にも協力を要請します。</p> <p>次に、図表19避難所における生活ごみ発生量につきましては、図表20に示す算出条件にしたがって算出したものであり、災害発生後に被害状況に応じて策定する「太宰府市災害廃棄物処理実行計画」において、生活ごみ発生量について随時見直しを行いながら避難所における生活ごみの適切な処理を行います。</p>

番号	属性	ページ	意見	市の考え方
7	市民	全体	<p>結論</p> <p>「太宰府市災害廃棄物処理計画(素案)」を作成されておりますが、太宰府市の財政状態からして絵に描いた牡丹餅に過ぎないと考察致します。</p> <p>「令和5年度太宰府市歳入歳出決算書」、「令和5年度太宰府市決算審査及び基金の運用状況審査意見書」に基づき、災害が発生した場合の復旧費用等の財源として財政調整資金3,041,676千円(令和6年5月末現在高)を充当するものとする。 「令和6年11月号広報だざいふ」で楠田太宰府市長は、7,050,000千円の残高の基金を有していると表明されておりますが、$7,050,000\text{千円} - 3,041,676\text{千円} = 4,008,324\text{千円}$、この4,008,324千円は、法令諸規則・条例等により歳出が限定されております。</p> <p>財政調整資金は、自治体に災害等が発生した場合、且つ、不測の事態に直面した場合、歳出を余儀なくされた時に執行するものである。</p> <p>太宰府市は、財政調整資金を期中において運転資金として予算に繰り入れ、積み立てを繰り返している。予算に繰り入れを行っている時に、災害等が発生した場合、この財政調整資金を活用しなければならなくなった時、「太宰府市災害廃棄物処理計画(素案)」に基づき、災害廃棄物処理等が実行できるのか疑問であると考察するが如何。</p> <p>激甚災害制度の指定を受けるにしても、かなりハードルが高いと考える。</p> <p>太宰府市は、令和5年度一般会計実質単年度収支は、△144,522千円の赤字である。令和4年度一般会計実質単年度収支は、△402,916千円の赤字である。</p> <p>このような財政状態で災害廃棄物処理計画を実現できるのか如何。</p> <p>市債(借入金)残高、令和5年度末18,730,050千円ー臨時財政対策債残高8,766,439千円= 9,963,611千円となっている。</p> <p>水道事業会計令和5年度末企業債残高760,844千円、下水道事業会計令和5年度末企業債残高4,432,634千円となっている。</p> <p>$9,963,611\text{千円} + 760,844\text{千円} + 4,432,634\text{千円} = 15,157,089\text{千円}$の借入金残高を太宰府市は令和5年度末現在で抱えている。臨時財政対策債については、借り入れ利息とも地方交付税として交付される。</p> <p>前述のとおり、太宰府市の財政状態は、自転車操業と同じではないかと考察するが太宰府市は、どのように考えているのか問う。</p> <p>このような状況下では、災害が発生した場合、災害復旧等の対応するのが不可能ではないのかということを問う。</p>	<p>本計画の内容に直接かわるご意見ではありませんが、財政の課題は災害対応に大きく関与するものであり、貴重なご意見として関係する部署とも情報を共有させていただきます。</p>